

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和2年 10月 19日

(あて先)前橋市長

提出者

住 所 群馬県前橋市総社町1-8-1

氏 名 NSKステアリングシステムズ㈱

代表取締役社長 小林 克視

電話番号 027-253-1331

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、  
令和元年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	NSKステアリングシステムズ㈱ 総社工場(総社)
事業場の所在地	前橋市総社町1-8-1
事業の種類	輸送用機械器具製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和元年4月1日～令和2年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,723.2t	全処理委託量	713.2t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	—t	優良認定処理業者への 処理委託量	501.2t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	—t	再生利用業者への 処理委託量	212.9t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	1,010.8t	認定熱回収業者への 処理委託量	—t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	—t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	—t
※事務処理欄			

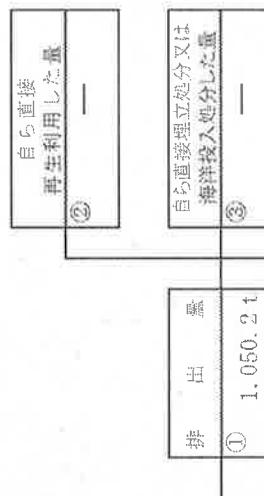
(日本工業規格 A列4番)



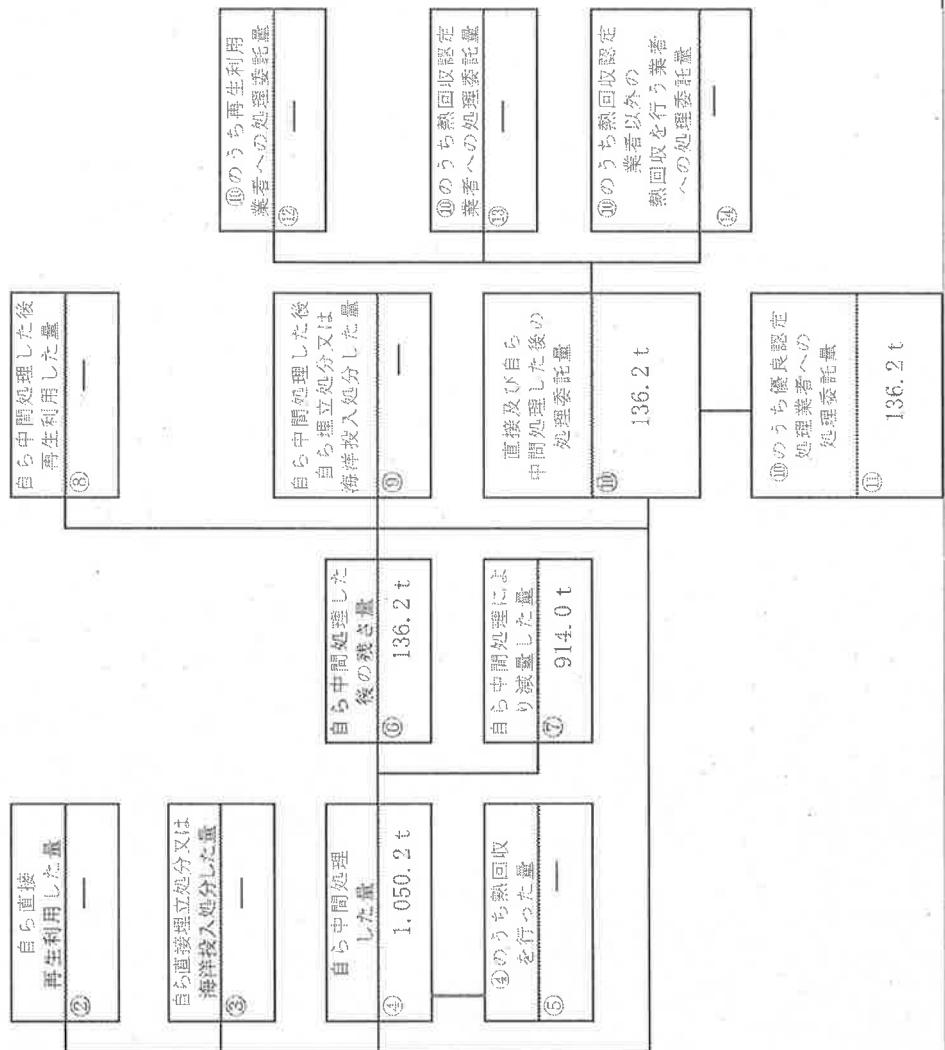
計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: 汚泥)	
項目	実績値	項目	実績値
① 排出量	187.3 t	④ 自ら中間処理した量	—
② + ③ 自ら再生利用を行った量	187.3 t	⑤ のうち熱回収を行った量	—
⑤ 自ら熱回収を行った量	—	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	—
⑥ + ⑦ 自ら中間処理により減量した量	187.3 t	⑦ のうち中間処理による減量	—
⑦ + ⑧ 自ら埋立処分又は海浜投入処分を行った量	187.3 t	⑧ 直接及びひびから中間処理した後の処理委託量	—
⑨ 全処理委託量	187.3 t	⑨ のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	—
⑩ 優良認定業者への処理委託量	187.3 t	⑩ のうち優良認定業者への処理委託量	—
⑪ 再生利用業者への処理委託量	—	⑪ のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	—
⑫ 熱回収認定業者への処理委託量	—	⑫ のうち熱回収認定業者への処理委託量	—
⑬ 熱回収を行う業者への処理委託量	—	⑬ のうち熱回収を行う業者への処理委託量	—
⑭ 不要物等発生量	—	⑮ 自ら中間処理した後再生利用した量	—
⑮ 傷物量	—	⑯ のうち再生利用率	—
⑯ 計画の実施状況	—	⑰ のうち再生利用率	—

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廉油 (乳化廢液、社内処理))



項目	実績値	自ら中間処理した後の残さ量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した後再生利用した量	自ら直接利用した量
①排出量	1,050.2 t	1,050.2 t	—	—	—
②自ら再生利用を行った量	—	—	—	—	—
③自ら熱回収を行った量	—	—	—	—	—
④自ら中間処理により減量した量	—	—	—	—	—
⑤自ら直接埋立処分又は海洋投入処分を行った量	914.0 t	914.0 t	—	—	—
⑥全処理委託量	136.2 t	136.2 t	—	—	—
⑦処理委託による処理業者への処理委託量	136.2 t	136.2 t	—	—	—
⑧熱回収認定業者への処理委託量	—	—	—	—	—
⑨熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	—	—	—	—	—



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油(乳化溶液))

項目	実績値	備考
①排出量	214.4 t	
②+③自ら再生利用を行った量	—	自ら直接処分又は 直接埋立処分した量
④自ら中間処理した量	—	自ら中間処理した後 再生利用した量
⑤自ら熱回収を行った量	—	自ら中間処理した後 再生利用した量
⑥自ら中間処理により減量した量	—	自ら中間処理した後 再生利用した量
⑦自ら埋立処分又は 直接埋立処分を行った量	—	自ら中間処理した後 再生利用した量
⑧自ら熱回収を行った量	—	自ら中間処理した後 再生利用した量
⑨全処理委託量	214.4 t	自ら中間処理した後 再生利用した量
⑩優良認定処理業者への 処理委託量	214.4 t	自ら中間処理した後 再生利用した量
⑪再生利用率業者への処理 委託量	—	自ら中間処理した後 再生利用した量
⑫熱回収認定業者への処 理委託量	—	自ら中間処理した後 再生利用した量
⑬熱回収を行いう業者への 処理委託量	—	自ら中間処理した後 再生利用した量
⑭のうち再生利用率業者への 処理委託量	—	自ら中間処理した後 再生利用した量
⑮のうち熱回収認定業者 への処理委託量	—	自ら中間処理した後 再生利用した量
⑯のうち熱回収を行いう業者 への処理委託量	—	自ら中間処理した後 再生利用した量
⑰のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	—	自ら中間処理した後 再生利用した量
⑱のうち熱回収認定業者 への処理委託量	214.4 t	自ら中間処理した後 再生利用した量
⑲のうち熱回収を行いう業者 への処理委託量	214.4 t	自ら中間処理した後 再生利用した量

計画の実施状況

## (産業廃棄物の種類)

1

景物借有

靈生堯等物要不

31. 4 t.

①排出量	31.4 t
②+③自ら再生利用を行った量	31.4 t

置した墨  
③+⑨自ら埋立処分又は  
海洋投入処分を行った墨

再生利用率	24.2 t
回収認定業者への処理委託量	
回収認定業者への処理委託量	

自ら直接  
再生利用した量

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した

自らの中間処理した  
後の残さ量

自ら時間処理に手  
を減らした量

31. 4 t.

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

11 7.2 t

後輩利用した  
中間処理した  
から再生

（9）

### ⑩のうち熱回収認託量への處理委託量

⑩のうち熟回収認定業者以外の熟回収を行う業者への処理委託監査

計画の実施状況

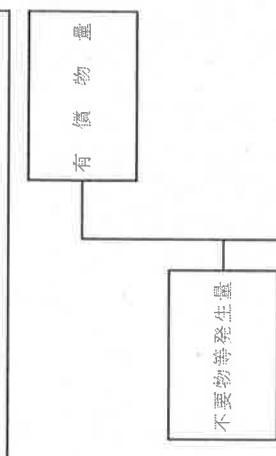
(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック )

有 機 物 質	排 出 量	① 96.3 t	項目 ① 排出量 ②+③ 自ら再生利用を行った量 ⑤ 自ら熱回収を行った量 ⑦ 自ら中間処理を行った量 ⑨ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量 ⑩ 全処理委託量 ⑪ 優良認定処理業者への 処理委託量 ⑫ 再生利用業者への処 理委託量 ⑬ 熱回収認定業者への 処理委託量 ⑭ 熱回収を行いう業者への 処理委託量	実績値 ④ — ⑥ — ⑧ — 自ら中間処理による 減量 ⑦ — 自ら中間処理した量 ⑩ 96.3 t 自ら中間処理した量 ⑪ — 自ら中間処理した量 ⑫ — 自ら中間処理した量 ⑬ — 自ら中間処理した量 ⑭ —	自ら中間処理した量 ④ — ⑥ — ⑧ — 自ら中間処理による 減量 ⑦ — 自ら中間処理した量 ⑩ 96.3 t 自ら中間処理した量 ⑪ — 自ら中間処理した量 ⑫ — 自ら中間処理した量 ⑬ — 自ら中間処理した量 ⑭ —	⑩ (⑩)のうち再生利用 業者への処理委託量 ⑫ 96.3 t ⑪ (⑪)のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑬ — ⑭ (⑭)のうち熱回収認定 業者以外の業者 への処理委託量 ⑫ — ⑪ (⑪)のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑬ — ⑭ (⑭)のうち熱回収を行いう業者 への処理委託量 ⑫ — ⑪ (⑪)のうち熱回収認定業者 への処理委託量 ⑬ — ⑭ (⑭)のうち熱回収を行いう業者 への処理委託量 ⑫ —
不要物等発生量						

言語の実施状況

### (産業廢棄物の種類)

唇首研



不要物等発生量		項目	実績値
①排出量			6.4 t
②③自ら再生利用を行った量			6.4 t
④自ら熱回収を行った量			—
⑤自ら中間処理により減じた量			—
⑥⑦自ら埋立処分又は海上投入処分を行った量			—
⑧⑨金処理委託量			6.4 t
⑩優良認定処理業者への処理委託量			6.4 t
⑪再生利用業者への処理委託量			—
⑫通常回収認定業者以外の業者への処理委託量			—

1

(8)	—
-----	---

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:  
ガラス陶磁器屑)

有 價 物 量
------------------

不  
要  
物  
等  
発  
生  
量

排  
出  
量  
① 5.5 t

自  
ら  
直  
接  
再  
生  
利  
用  
し  
た  
量  
② —

自  
ら  
中  
間  
処  
理  
し  
た  
後  
再  
生  
利  
用  
し  
た  
量  
③ —

自  
ら  
中  
間  
處  
理  
し  
た  
量  
④ —

自  
ら  
中  
間  
処  
理  
し  
た  
後  
再  
生  
利  
用  
し  
た  
量  
⑤ —

項  
目  
① 排出量  
② + ⑧ 自ら再生利用を行った量  
⑤ 自ら熱回収を行った量  
⑦ 自ら中間処理により減量した量  
⑨ 自ら埋立処分又は海洋投げ入れを行った量  
⑩ 全処理委託量  
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量  
⑫ 再生利用業者への処理委託量  
⑬ 热回収認定業者への処理委託量  
⑭ 热回収を行う業者への処理委託量

実績値  
5.5 t  
—  
—  
—  
—

③ のうち熱回収を行った量  
⑤ のうち熱回収を行った量  
⑦ のうち熱回収認定業者による減量  
⑨ のうち熱回収認定業者による減量  
⑪ のうち熱回収認定業者による減量  
⑬ のうち熱回収認定業者への処理委託量  
⑭ のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑩ のうち再生利用業者への処理委託量  
⑫ 0.4 t

⑩ のうち再生利用業者への処理委託量  
⑫ —

⑩ のうち再生利用業者への処理委託量  
⑫ —

⑩ のうち再生利用業者への処理委託量  
⑫ —

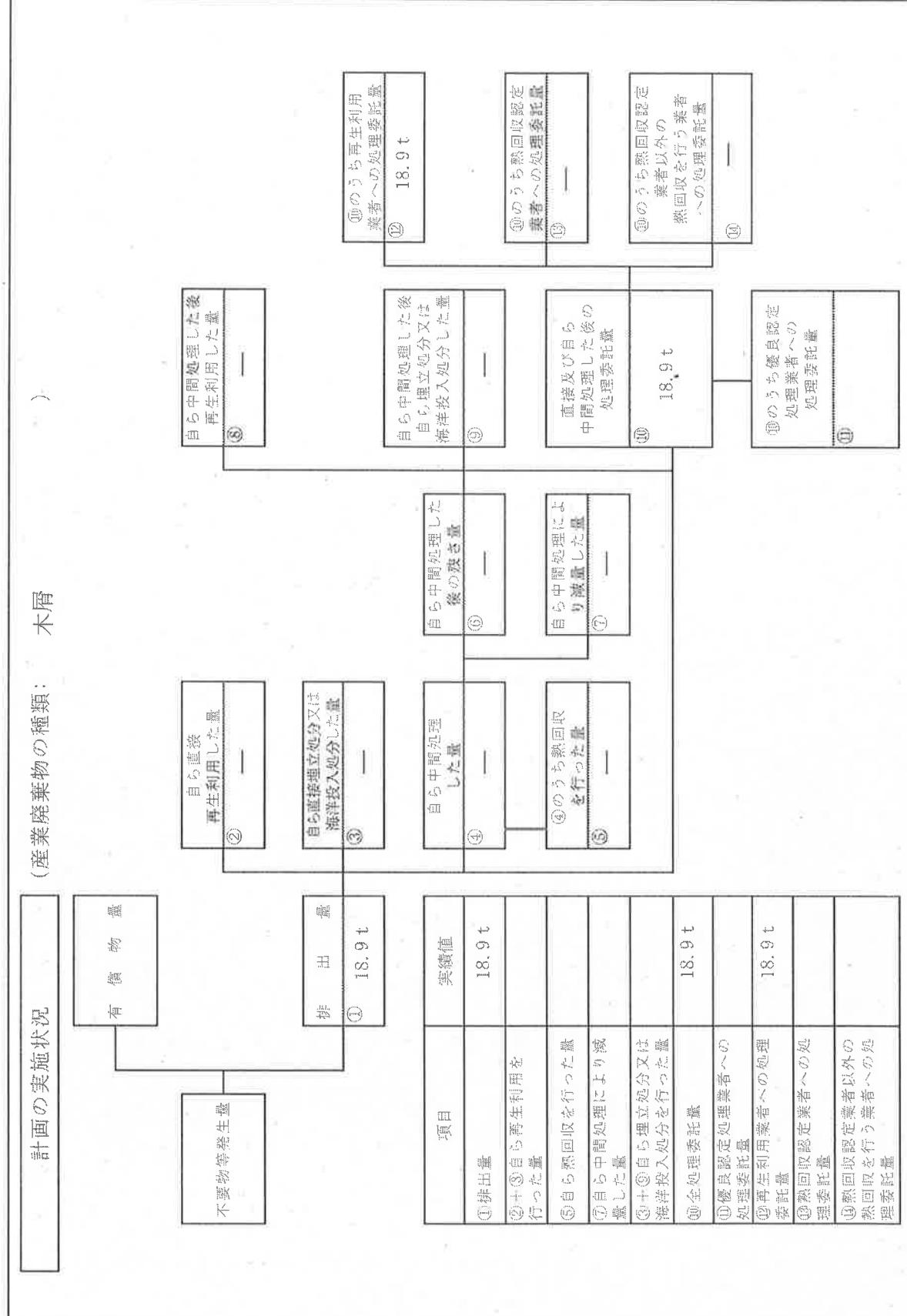
⑩ のうち再生利用業者への処理委託量  
⑫ 5.1 t

計画の実施状況

### (産業廃棄物の種類)

1

100



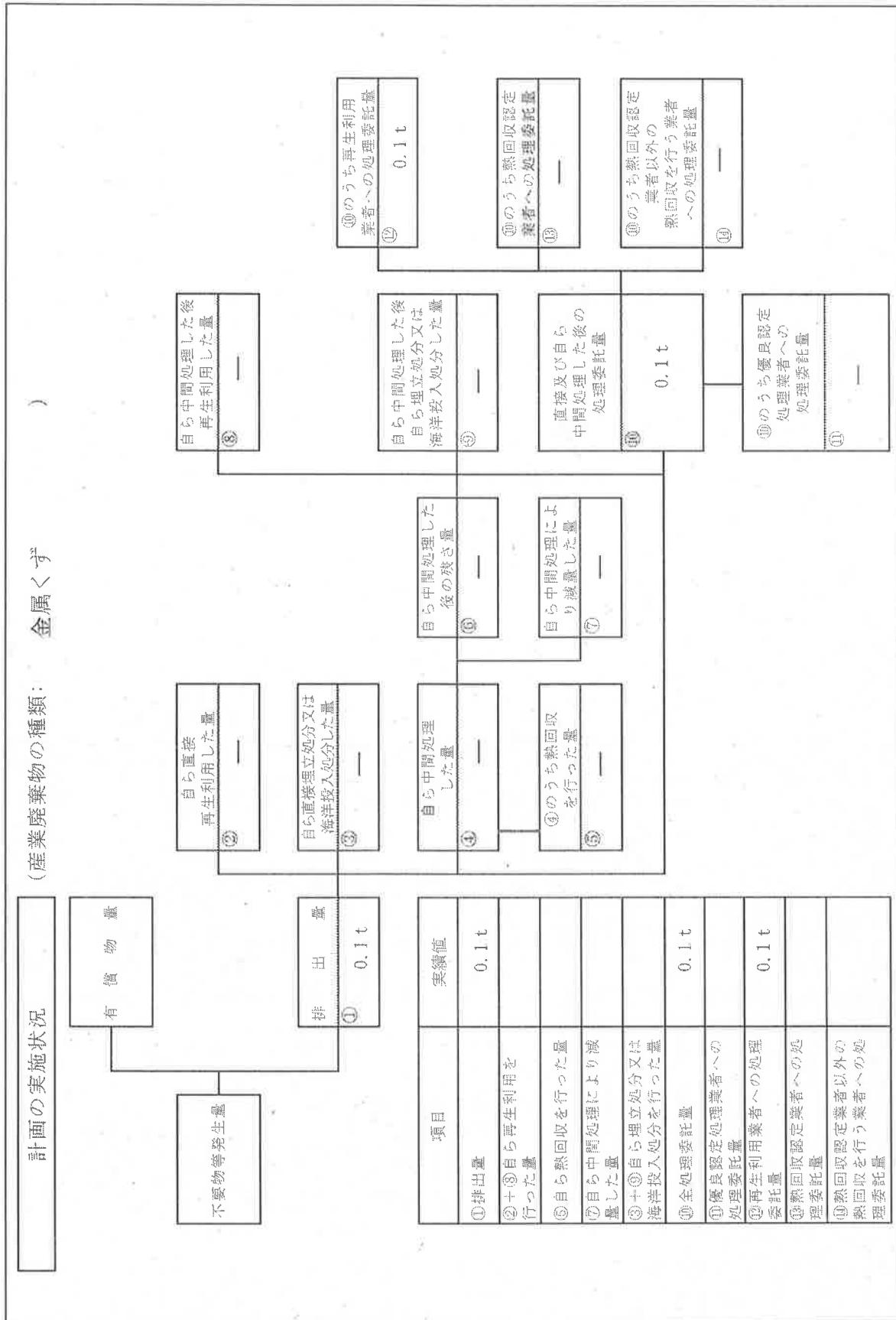
計画の実施状況

## (産業廃棄物の種類：廃アルカリ)

計画の実施状況

### (産業廃棄物の種類)

金屬



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
- (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれとの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。